

4 ライター

【関連章第3章4】

事例2 「ライターを投げた際にスイッチが誤って入り出火した火災」

出火時分 8月 20時ごろ
用途等 共同住宅 防火造 6/2 延 19,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 内壁若干、マットレス1枚等焼損
概要

この火災は、共同住宅の4階居室から出火したものです。

出火原因は、ライターのカバーを開くと点火するライター（ガトリングライター）をベッド上に投げたところ、偶然にカバーが開いたため点火されてしまい、マットレスに着火して出火したものです。

居住者はライターをベッドに投げた後、よく確認せずにトイレに行きました。トイレにいる際に焦げた臭気を感じ、ベッドに戻るとマットレスから炎が上がっているのを発見し、キャンプ用の耐熱シートを被せ窒息消火を図るとともに、鍋で水を汲みかけ初期消火を実施しました。

通報は、建物管理人が自動火災報知設備の発報を確認し、受信盤で位置を特定し、該当住戸へ連絡したところ、応答がないため、固定電話で119番通報しました。

教訓等

この火災は、カバーが開くと点火するライター（ガトリングライター）を不用意にベッド上に投げってしまったことにより発生しています。

安全装置が付いていない物を不用意に扱うと使用者の意図しない結果に至ってしまうことがあります。使用している製品機器の機能、構造をよく確認して使用することが、不慮の事故を防ぐことに繋がります。



写真 4-3 焼損したベッドの状況



写真 4-4 焼損したライターの状況